

第1回 2022年 2月 20日 (日)



話題提供者 塩見陽子さん

(元広島市こども療育センター保育士)

「障害のある子どもの理解－就学前の療育現場から考える」

＜ご本人からの挨拶＞ 広島市の保育園や療育センターの肢体不自由児通園施設で保育士として昨年度まで勤めていました。就学前の療育は自分づくりの出発点です。どんなに障害が重くても、あそびや生活を楽しみ、自然や文化との出会いの中で豊かに育ち合っていく。それはご家族にとっても同じです。実践は楽しい！ 現場で働く仲間も含めてみんなが発達の主人公。そんな就学前の現場で大切にしたいことをお話できたらと思います。

第2回 2022年 3月 5日 (土)

話題提供者 高橋翔吾さん

(大阪府、小学校教員)



「障害のある子どもの理解－小学校の教育現場から考える」

＜ご本人からの挨拶＞ 大阪府泉大津市の小学校で勤務しています。11年間担任した通常学級では、ゆるやかな学級集団作りや、思いや意見を出し合える学びや取組みを心掛けました。今は障害児学級担任をしています。障害児学級でも、仲間とともに学ぶことの楽しさを感じたり、自分らしく成長したりしてほしいと思っています。そんな実践をお話しさせていただき、学校教育やその時期に大切にしたいことを、いっしょに考えられたらと思います。

*タイムテーブル 第1回、第2回共通

9:30 開会、諸連絡

9:45～11:15 話題提供、休憩

11:30～12:00 意見交換

＜よびかけ＞

みなさん、いかがお過ごしでしょうか。

さて、全国障害者問題研究会はコロナ禍においても、障害者の権利を守り、発達を保障するための研究運動を旺盛に続けています。この夏にはオンラインでの静岡大会を開催し、実践研究の交流を行い、大いに盛り上がりました。

オンラインでの研究運動で、これまで参加しにくかった方々からも「こういう形なら参加できる」という声をいただくことがあります。実際に会って意見を交わすことを今後も大切にしながら、オンラインでの学習要求にも応えていこうと考えています。

そこで、全障研の研究推進委員会を母体として、オンラインゼミを開催することとしました。当面は初歩的な試みですが、積極的にご参加いただければ幸いです。

<名称>

全国障害者問題研究会 研究推進委員会 オンラインゼミ
(略称) オンラインゼミ

<開催方法>

・オンラインで行います。各自、インターネット環境とパソコンなどの端末が必要です。ゼミ事務局（三木）から、オンラインのURL（および、ミーティングID、パスコード）をお送りします。不慣れな方も、だんだんと上手になるぐらいのつもりで気楽にご参加ください。

<定員など>

- ・参加は無料です。話題提供者もボランティア参加です。障害者の権利を守り、発達を保障するための研究運動という趣旨にご賛同いただければ、どなたでも参加できます。定員は80名です。締め切り日までに定員に達した場合は、お断りすることがあります。
- ・報告と意見交換は録画します。また、参加者の氏名、所属を参加者全員に名簿で開示します。この2点についてご同意が必要です。
- ・参加資格に全障研会員か否かは問いませんが、全障研の紹介、入会の呼びかけ、カンパなどをお願いする予定です。

申し込みについて

・メールに下記項目を記入の上、申し込んでください。メール件名は「オンラインゼミ申し込み」としてください（必須）。「受け付けました」という返事が届くまで申し込み完了ではありません。

・ゼミ事務局 三木裕和 19hiroказu@gmail.com

・メール記入項目

- ①氏名（参加者名簿にニックネームを希望する際は、その旨を書いてください。なお、当方には実名をお教えください。）
- ②都道府県名、所属、職名（参加者名簿には、都道府県名、所属を記載します。）
- ③メールアドレス（参加者名簿には記載しません。）
- ④携帯電話番号（参加者名簿には記載しません。当方からの連絡に使用することがあります。）
- ⑤参加希望回

第1期は2回のゼミを予定しています。連続参加を歓迎しますが、いずれか1回のみでもだいじょうぶです。申し込み時に、参加希望回を記入してください。

第1回のみ、第2回のみ、第1回・第2回両方

なお、1PCで複数の方の参加も可能です。その場合は代表者と参加者数（予定）を記入してください。

・応募締め切り 2022年2月11日（金）

オンラインゼミ事務局 三木 裕和（みき ひろかず）
19hiroказu@gmail.com